名豊道路のストック効果

三河地域の未来を創る

知立バイパス

岡崎バイパス

蒲郡バイパス

豊橋バイパス

豊橋東バイパス

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所

国道23 ROUTE

名豊道路のストック効果

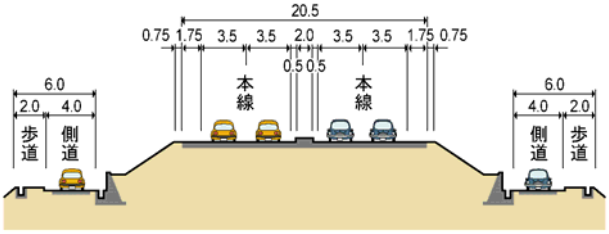
三河地域の未来を創る

		知立	岡崎	蒲郡	豊橋	豊橋東
1	名豊道路の概要					
2	これまでの歩み					
3	各バイパス整備前後の様子					
8	沿線地域に自動車関連企業が進出し経済が活性化！	●	●	●	●	●
9	名豊道路と観光ルートが重なりスムーズな周遊をサポート！	●	●	●	●	●
10	物流の要所・三河港と直結し国際競争力を強化！	●	●	●	●	●
11	自動車関連企業の通勤圏が拡大！広く雇用を創出！	●	●	●	●	●
12	災害に耐える強靭な命綱として活躍！	●	●	●	●	●
13	災害時の緊急避難路を確保！救援・救護活動を支援！	●	●	●	●	●
14	クルーズ船誘致と道路整備で観光ネットワークを形成!！	●	●	●	●	●
15	名豊道路の整備と沿線の歩み！	●	●	●	●	●
16	地域の様々な産業を支援！	●	●	●	●	●
17	スポーツ交流・連携を支援！	●	●	●	●	●
18	優れたものづくり企業「愛知ブランド企業」が立地！	●	●	●	●	●
19	沿線市町の観光資源の連携を支援！	●	●	●	●	●
20	ウォーキングへの参加機会増加による健康支援！	●	●	●	●	●
21	国際的な自動車産業物流を担い日本の経済を支える！	●	●	●	●	
22	自動車産業の生産性と効率性がグッと高まる！	●	●	●	●	
23	物流の効率化によりトラックの１日２往復が可能に！	●	●	●	●	
24	地域特産物切り花類の出荷を支援！	●	●	●	●	
25	完成車輸送の事業継続計画を支援！	●	●	●	●	
26	自動車部品輸送時間の信頼性・確実性が高まる！	●	●			
27	道路の整備にともない製造品出荷額が約2.7兆円増加！	●				
28	進む市街化　知立バイパス沿線で人口1.5倍！	●				
29	工業団地造成で民間投資と雇用を創出！		●	●		
30	工業団地など地域開発が進展！		●	●		
31	「命の砦」3次医療施設へのアクセス性が向上！		●	●		
32	地域の情報発信基地「道の駅」の入込客数が増加！		●			
33	観光流入客数が倍増！全国No1を広く周知！		●			
34	沿線に物流施設が立地し部品工場からの物流を集約！		●			
35	企業立地がどんどん進展し地域が活性化！		●			
36	大規模物流施設の整備により新たな雇用を創出！		●			
37	企業進出により地域経済が好循環！				●	●
38	輸送の回旋可能数が増加し物流効率化に寄与！				●	●
39	音羽蒲郡ICまでの所要時間短縮！特産物流通を支援！				●	●
40	これまでの交通量の推移および現状の交通量					
41	名豊道路の貨物車交通の変化					

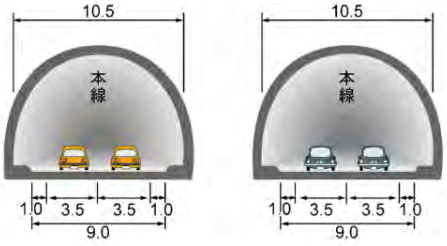
名豊道路の概要

❖標準断面図 (単位:m)

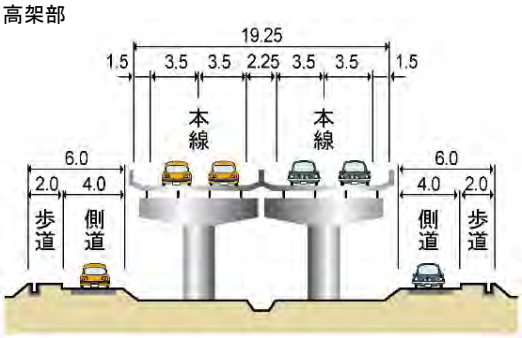
■盛土部



■トンネル部



■高架部



❖諸元

事業名	一般国道23号名豊道路
起終点	(起点)愛知県豊橋市東細谷町 (終点)愛知県豊明市阿野町
延長	72．7km
道路規格	第1種第3級 第3種第1級(豊橋バイパスの一部)
設計速度	80km／h
車線数	4車線

これまでの歩み

❖これまでの歩み

1972年	知立バイパス	事業化（7.0km）
1973年	豊橋バイパス	事業化（17.6km）
1974年	知立バイパス	事業化（6.8km）
	知立バイパス	工事着工
1977年	知立バイパス	和泉ＩＣ～高棚北ＩＣ間　開通（4.3km）
1978年	知立バイパス	事業化（2.6km）
	岡崎バイパス	事業化（7.0km）
1980年	岡崎バイパス	事業化（7.0km）
	豊橋バイパス	工事着工
1983年	豊橋バイパス	神野新田ＩＣ～前芝ＩＣ間　開通（5.4km※公団含む）
	知立バイパス	西中ＩＣ～豊明ＩＣ間　開通（7.2km）
1986年	岡崎バイパス	工事着工
1987年	知立バイパス	野田ＩＣ～西中ＩＣ間　開通（1.3km）
1988年	知立バイパス	高棚北ＩＣ～野田ＩＣ間　開通（1.5km）
1989年	知立バイパス	安城西尾ＩＣ～和泉ＩＣ間　開通（2.5km）⇒**知立バイパス暫定2車線開通**
1990年	豊橋バイパス	豊橋港ＩＣ～神野新田ＩＣ間　開通（1.8km）
1992年	岡崎バイパス	中原ＩＣ～安城西尾ＩＣ間　開通（3.4km）
	豊橋東バイパス	事業化（9.2km）
1993年	豊橋バイパス	大崎ＩＣ～豊橋港ＩＣ間　開通（2.km）
1994年	豊橋東バイパス	豊橋浜松道路として地域高規格道路の計画路線に指定
1996年	知立バイパス	西中ＩＣ～上重原ＩＣ間　4車線開通（1.7km）
1997年	知立バイパス	和泉ＩＣ～高棚北ＩＣ間　4車線開通（3.8km）
	蒲郡バイパス	事業化（5.9km）
1998年	知立バイパス～豊橋バイパス	名豊道路として地域高規格道路の計画路線に指定
	岡崎バイパス	西尾東ＩＣ～中原ＩＣ間　開通（2.2km）
2002年	知立バイパス	上重原ＩＣ～豊明ＩＣ間　4車線開通（3.8km）
	豊橋東バイパス	工事着工
2004年	豊橋バイパス	野衣ＩＣ～大崎ＩＣ間　開通（3.8km）⇒**豊橋バイパス暫定2車線開通**
2005年	岡崎バイパス	幸田須美ＩＣ～西尾東ＩＣ間　開通（3.6km）
	豊橋バイパス	豊川橋無料化
2006年	知立バイパス	野田ＩＣ～西中ＩＣ間　4車線開通（1.0km）
2007年	豊橋東バイパス	七根ＩＣ～野衣ＩＣ間　開通（2.3km）
	岡崎バイパス	幸田芦谷ＩＣ～幸田須美ＩＣ間　開通（5.5km）⇒**岡崎バイパス暫定2車線開通**
	蒲郡バイパス	事業化（9.1km）　⇒**名豊道路全線73km事業化**
	蒲郡バイパス	工事着工
2009年	豊橋バイパス	豊川橋3車線化
	岡崎バイパス	道の駅「筆柿の里・幸田」「にしお岡ノ山」が開駅
	知立バイパス	和泉ＩＣ～高棚北ＩＣ間　4車線開通（3.8km）
2012年	知立バイパス	安城西尾ＩＣ～和泉IC間　4車線開通（2.6km）⇒**知立バイパス完成4車線開通**
	岡崎バイパス	藤井ＩＣ～安城西尾ＩＣ間　4車線開通（1.5km）
	蒲郡バイパス	前芝ＩＣ～豊川為当ＩＣ間　開通（4.2km）
	豊橋東バイパス	細谷ＩＣ～七根ＩＣ間　開通（4.4km）
2013年	豊橋バイパス	大崎ＩＣ～前芝ＩＣ間　4車線開通（9.4km）
	豊橋東バイパス	豊橋東ＩＣ～細谷ＩＣ間　開通（2.5km）⇒**豊橋東バイパス暫定2車線開通**
2014年	蒲郡バイパス	蒲郡ＩＣ～幸田芦谷ＩＣ間　開通（5.9km）
2016年	岡崎バイパス	西尾東ＩＣ～安城西尾ＩＣ間　4車線開通（4.0km）

【現在の整備状況】

知立バイパス整備前後の様子

整備前

1998.6撮影

整備後

2014.12撮影

岡崎バイパス整備前後の様子

整備前

2000.11撮影

整備後

2016.3撮影

蒲郡バイパス整備前後の様子

整備前

2000.12撮影

整備後

2014.12撮影

豊橋バイパス整備前後の様子

整備前

1998.6撮影

整備後

2013.8撮影

豊橋東バイパス整備前後の様子

整備前

1995.11撮影

整備後

2015.2撮影

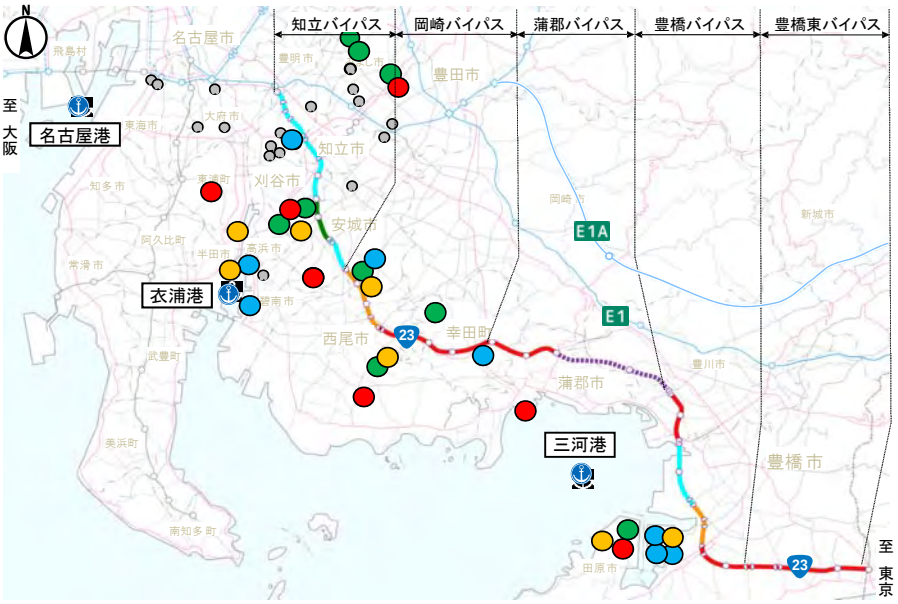
沿線地域に自動車関連企業が進出し経済が活性化！

S社工場(1985年稼働)
写真:W社提供

●名豊道路の整備に伴い、沿線地域に自動車関連企業が進出。

●沿線の製造品出荷額等は、整備開始前と比べ約12倍（約9.2兆円）に増加、従業者（雇用）は約3割（約5.0万人）増加。

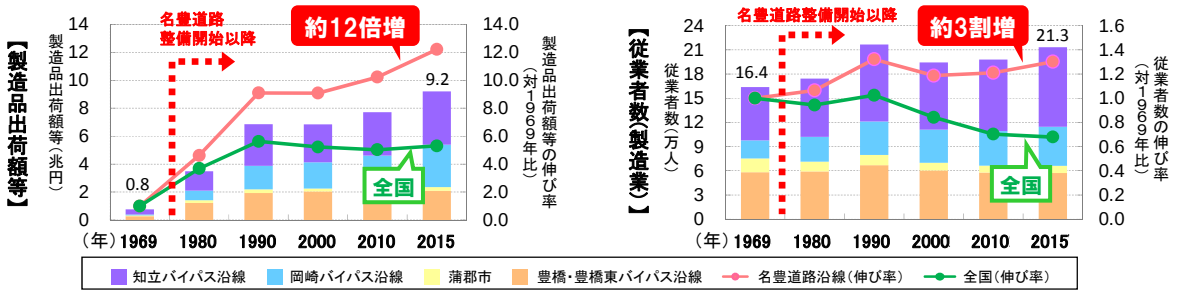
名豊道路沿線地域への自動車関連企業の進出状況



	道路整備	企業進出
1970 (S45)年以前		○
1970 (S45)年代	―	●
1980 (S55)年代	―	●
1990 (H2)年代	―	●
2000 (H12)年以降	―	●

※沿線地域の企業：名豊道路のICから10km圏内の自動車関連企業（T社グループ）を対象に作図

名豊道路沿線の製造品出荷額等や従業員数の推移



出典：工業統計（製造品出荷額等、製造業の従業者数）
※名豊道路沿線：刈谷市、安城市、知立市、西尾市、蒲郡市、豊川市、豊橋市、幸田町

名豊道路と観光ルートが重なり スムーズな周遊をサポート！

- 昇龍道のモデルルート「Ukiyo-e（浮世絵）Course」が東海道沿いに設定。
- 名豊道路が、「Ukiyo-e Course」へのアクセス向上に寄与し、中部国際空港から入国した外国人観光客が周遊可能。

昇龍道「Ukiyo-e Course」（愛知以東）

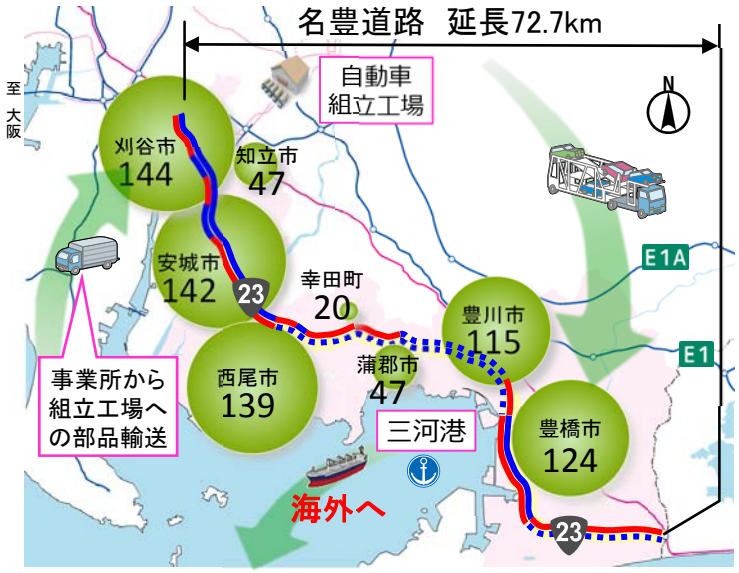
出典：昇龍道ホームページ、豊橋市

物流の要衝・三河港と直結し国際競争力を強化！

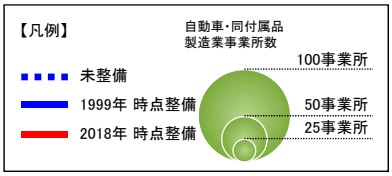
●名豊道路と三河港の直結により、物流効率化および工場立地が累増。
自動車産業の国際競争力の強化が期待。

●道路、港湾のインフラ連携により整備効果が増大する事業への計画的な重点化を進め、社会資本全体として生産性効果が最大限に発揮されるようにすべき。

名豊道路沿線の事業所数（自動車・同附属品製造業）

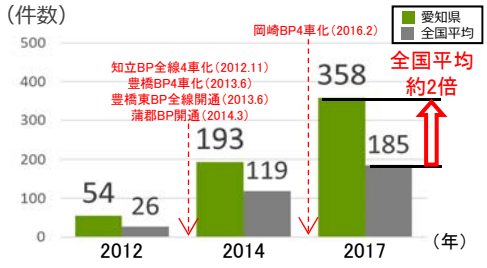


出典：H26経済センサス【確報値】（総務省）



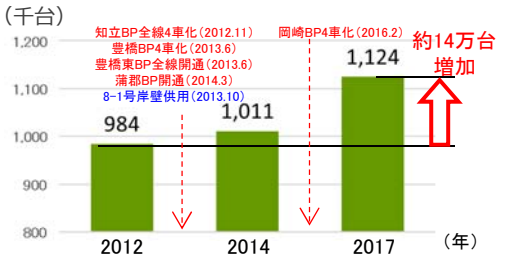
出典：三河港湾事務所ホームページ

愛知県の工場立地件数（2012年からの累計）



出典：H29工業立地動向調査（経済産業省）

三河港の取扱量（輸入・輸出自動車台数計）



出典：貿易統計（財務省）

自動車関連企業の通勤圏が拡大！広く雇用を創出！

- 名豊道路の沿線には、自動車部品企業の工場が多数立地。
- 名豊道路の開通にあわせ、1時間圏域が刈谷市、豊橋市まで広がることで関連工場の通勤圏域が拡大、人材確保が容易に。

名豊道路沿線企業における通勤1時間圏域の変化

出典：1994年時点：平成6年度全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度、
2015年時点：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度
蒲郡バイパス全線開通後：民間プローブデータ（2016.10平日7時台平均、
未開通区間は開通済み区間の平均速度）
※中村精機本社から通勤1時間圏域を算出

■自動車部品企業の実感

名豊道路は、物流や通勤に貢献していると感じる。
通勤圏が広がり、従業員が刈谷市、豊橋市、豊川市より通勤するようになった。
安全面や人材確保面などの雇用でもメリットがある。
2018年には幸田須美IC付近に新工場の建設を予定している。

出典：企業ヒアリング（2018年10月）

災害に耐える強靭な命綱として活躍！

対策本部車（国土交通省中部地方整備局）

- 三河地域の太平洋沿岸部は、南海トラフ地震発生時の津波被害が想定される地域。
- 名豊道路は内陸部に位置するほか、津波浸水を受けにくい高架橋等で整備されているため、沿岸部被災時には新東名、東名等とともに、広域支援ルート（くしの軸）の一部として、救援・救護活動、人員・物資輸送の機能を担うことが可能。

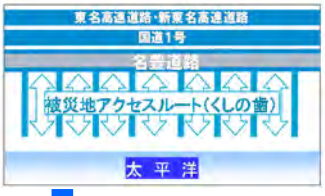
大規模災害時における知立バイパスの役割と早期復旧ルート確保手順

STEP1
広域支援ルート（くしの軸）を確保

比較的被害が少ない高規格幹線道路等の広域支援ルート（くしの軸）を確保

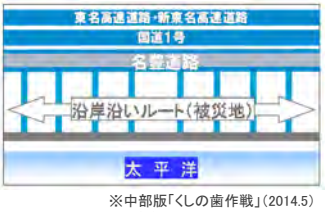
STEP2
被災地アクセスルート（くしの歯）を確保

被災地アクセスルート（くしの歯）を確保

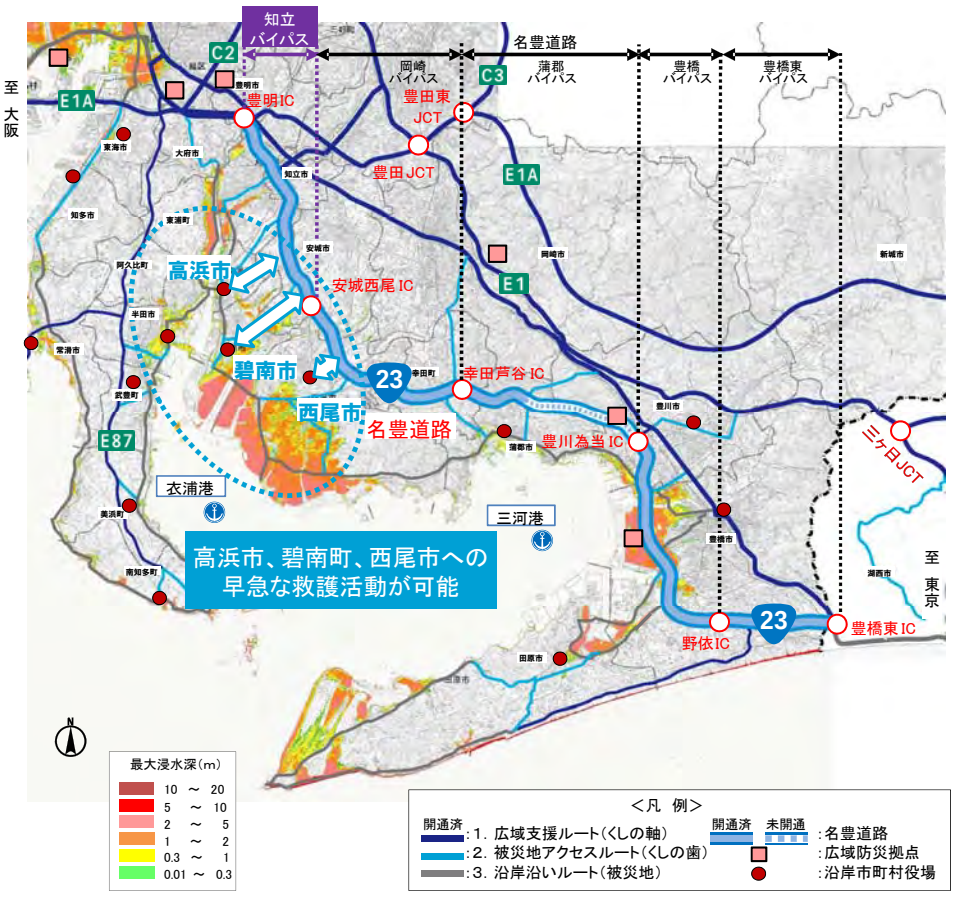


STEP3
沿岸沿いルート（被災地）を確保

沿岸沿いルート（被災地）を確保



※中部版「くしの歯作戦」（2014.5）
［道路啓開オペレーション計画］



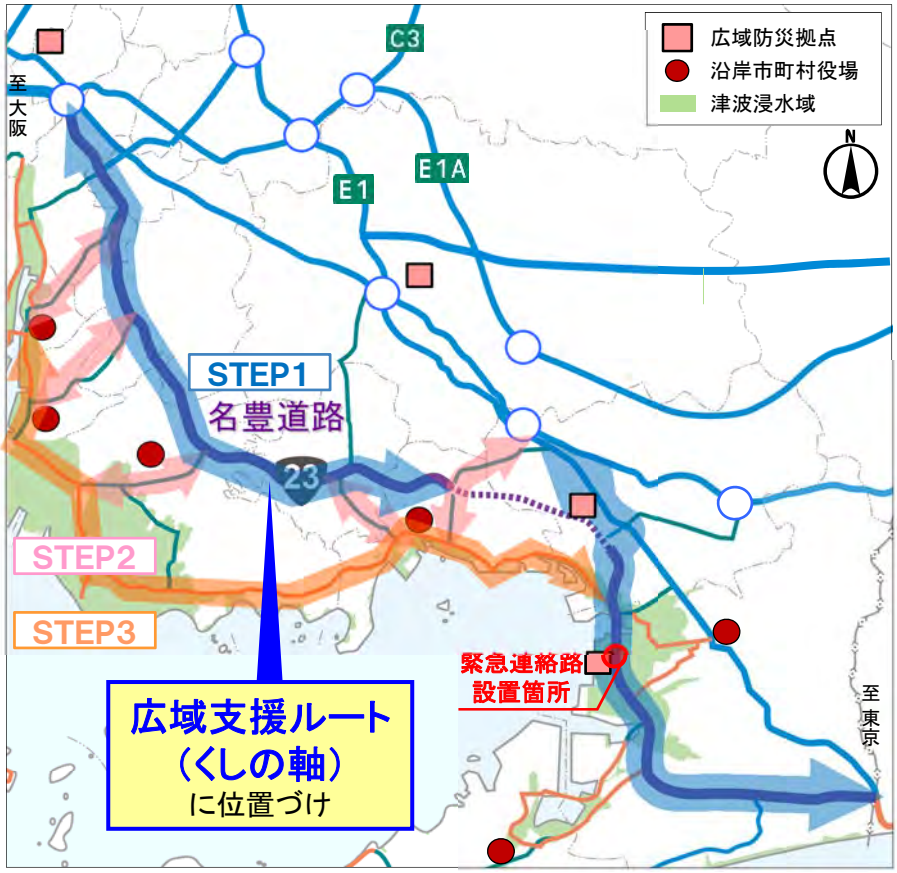
※「南海トラフ地震」愛知県被害想定マップ（2014年5月30日）に追記
参考URL：http://www.chunichi.co.jp/bosai/aichi.html

災害時の緊急避難路を確保！救援・救護活動を支援！

●名豊道路は、広域支援ルート（くしの軸）に位置づけられ、災害時の救援・救護活動等を支援。

●また、緊急避難路（避難改題）が整備され、災害時の迅速な避難を支援。

大規模災害時における名豊道路の役割



■道路啓開の手順

[STEP1]広域支援ルート（くしの軸）

[STEP2]被災地アクセスルート（くしの歯）

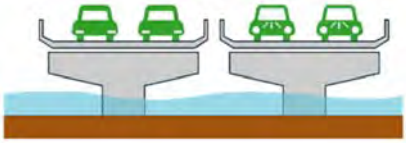
[STEP3]沿岸沿いルート（被災地）

国道23号豊橋バイパスを使って避難する地域住民の皆さん

避難階段

○津波による被害を回避

高架構造により災害時の避難・救助・復旧・復興活動に寄与

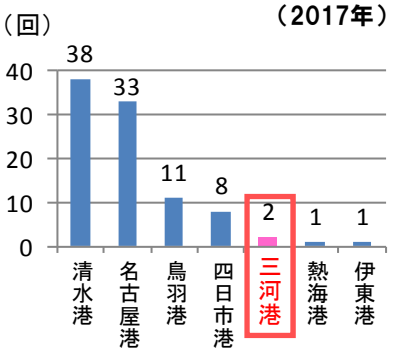


出典：「中部版 くしの歯作戦」（平成30年5月改訂版）［道路啓開オペレーション計画］
平成30年5月 中部地方幹線道路協議会・道路管理防災・震災対策検討分科会

クルーズ船誘致と道路整備で観光ネットワークを形成！

- 三河港では、2016年の開港50周年に合わせてクルーズ船の寄港が再開。
- 寄港時には、豊川稲荷や井伊谷城跡などの近郊の観光地に来訪。
- 名豊道路を利用して、岡崎や浜松方面等の観光地へも周遊できる行程が可能。

中部管内のクルーズ船寄港実績



出典：「中部管内の港湾 クルーズ船寄港実績」（国土交通省 中部地方整備局 港湾空港部）
※船内で1泊以上するクルーズ船の寄港を対象

H28年の蒲郡港の開港50周年に合わせてクルーズ船の寄港が再開

飛鳥Ⅱ

2017年3月17日 日本最大の豪華客船「飛鳥Ⅱ」が三河港に初寄港

出典：東愛知新聞（2017.3.18）

ダイヤモンド・プリンセス

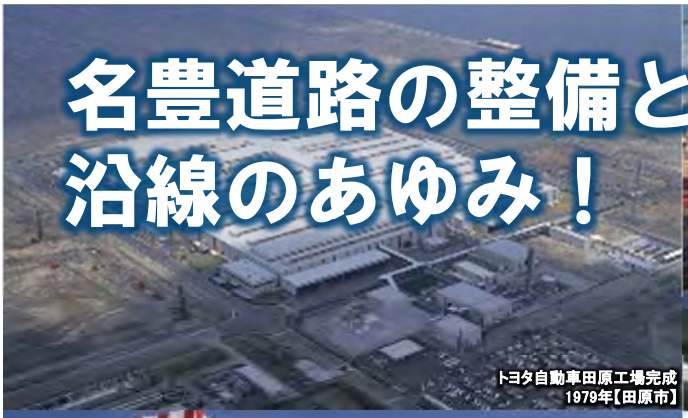
2019年3月27日「ダイヤモンド・プリンセス」の蒲郡への初寄港が決定

出典：蒲郡市HP

三河港・名豊道路が連携した観光ネットワークの形成

出典：三河港蒲郡地区における物流機能強化とクルーズ船誘致強化基盤整備検討調査（2016年：愛知県）より作成
出典：愛知県の公式観光ガイド「AichiNow」（愛知県観光協会）

名豊道路の整備と沿線のあゆみ！


トヨタ自動車田原工場完成
1979年【田原市】

ラグナシア開園
2002年【蒲郡市】

新幹線三河安城駅開業
1988年【安城市】

道の駅「筆柿の里・幸田」開駅
2009年【幸田町】

●1972年の名豊道路事業化から約50年。全線72.7kmのうち約64kmが開通。

●名豊道路の整備と共に沿線市町では開発が進展。

名豊道路の整備と沿線市町の開発の進展

1970年代頃

1969年　東名全線開通
1973年　衣浦海底トンネル開通

1969年：名四バイパス全線4車線開通

1980年代

1982年　中央道開通
1982年　三河港大橋（2車線）開通

1989年：知立バイパス全線2車線開通

1990年代

1996年　三河港大橋（4車線）開通
1998年　名港三大橋（名港トリトン）開通

1996年：潮見バイパス全線2車線開通

2000年代

2005年　中部国際空港開港
2005年　伊勢湾岸道全線開通

2004年：豊橋バイパス全線2車線開通
2007年：岡崎バイパス全線2車線開通

2010年代

2014年　リニア中央新幹線着工
2016年　新東名いなさJCT～豊田東JCT開通

2012年：知立バイパス全線4車線開通
2013年：豊橋東バイパス全線2車線開通

1979年【田原市】
トヨタ自動車田原工場完成

1987年【岡崎市】
葵博-岡崎'87開幕

1988年【安城市】
新幹線三河安城駅開業

1992年【豊橋市】
豊橋総合動植物公園開園

1997年【安城市】
安城産業文化公園デンパーク開園

1998年【蒲郡市】
蒲郡市農業協同組合
総合集出荷場竣工

2000年【知立市】
知立市文化会館（パティオ池鯉鮒）開館

2002年【蒲郡市】
ラグナシア開園

2004年【刈谷市】
刈谷ハイウェイオアシスオープン

2009年【幸田町】
道の駅「筆柿の里・幸田」開駅

2017年【西尾市】
岡ノ山遊ぼっ茶広場開園

2018年【豊川市】
豊川海軍工廠平和公園開園

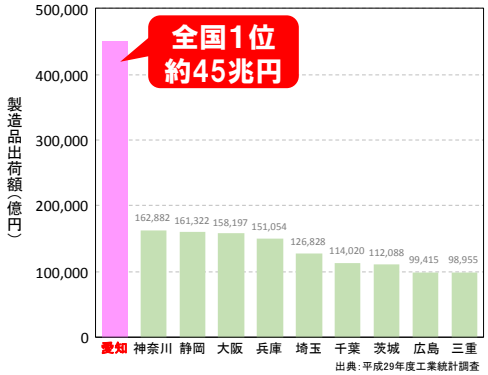
地域の様々な産業を支援！

●愛知県は製造品出荷額は全国1位、農業産出額は全国8位。工業農業ともに全国トップクラス。
●三河地域では様々な工業製品や特産品が製造、栽培されており、名豊道路が流通を支援。

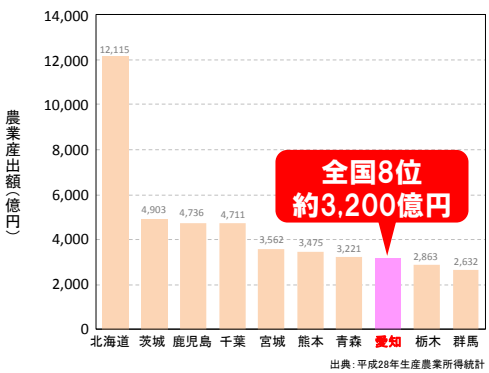
愛知県の工業および農業

工業、農業ともに全国トップクラス

【都道府県別の製造品出荷額（上位10位）】



【都道府県別の農業産出額（上位10位）】



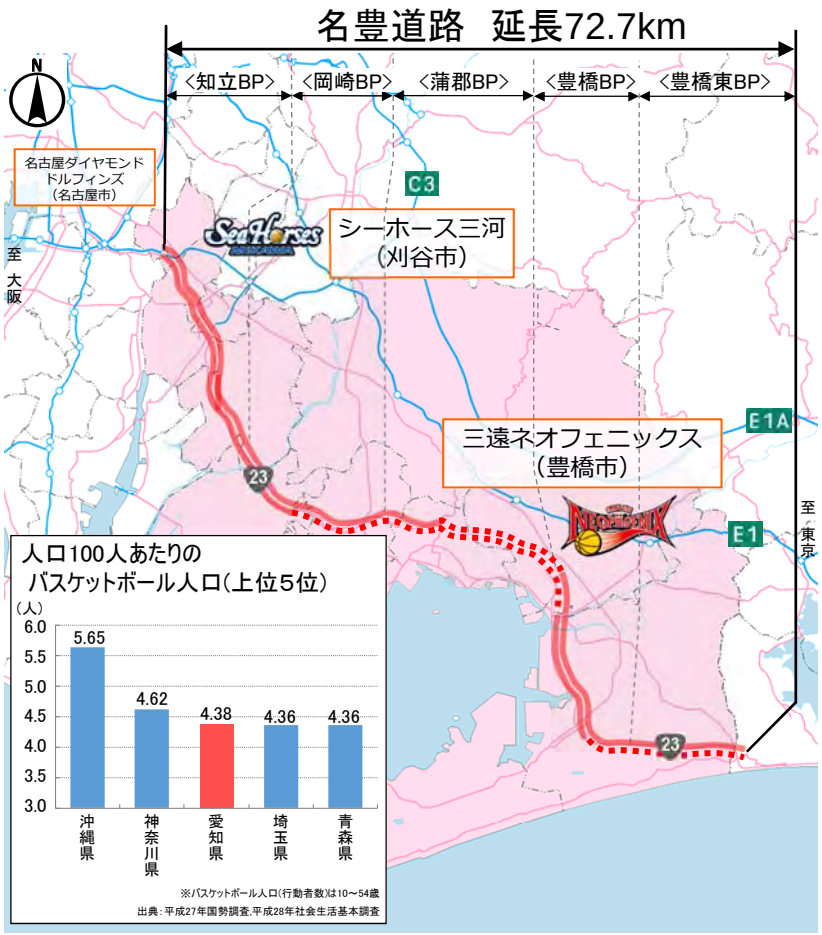
スポーツ交流・連携の支援！（バスケットボール）

提供：シーホース三河

©：San－En NeoPhoenix

●バスケット王国である愛知県は、人口あたりのバスケットボール人口が全国第3位。
●プロバスケットボールである『B.LEAGUE』に所属するチーム（B1）も、愛知県内に3チーム存在。
●名豊道路が整備されることで、愛知ダービーの促進など、スポーツ交流や連携を支援。

名豊道路がつなぐ『B.LEAGUEの愛知ダービー』



シーホース三河

提供：シーホース三河

三遠ネオフェニックス

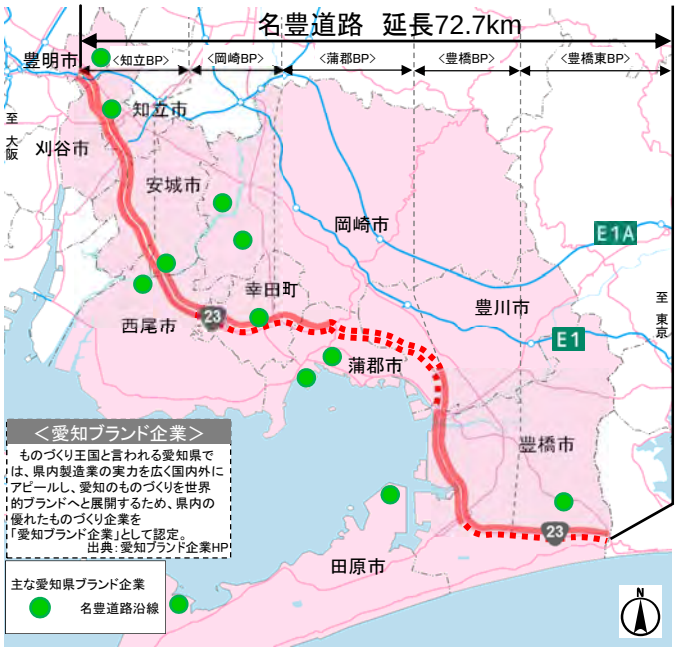
©：San－En NeoPhoenix

優れたものづくり企業「愛知ブランド企業」が立地！

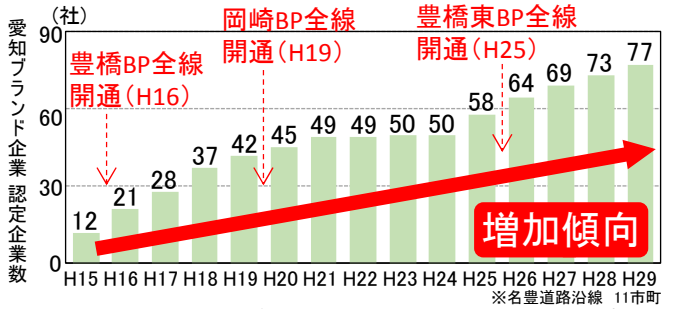
●愛知ブランド企業の認定企業が名豊沿線で増加。

●近年オンリーワン、ナンバーワンの企業が沿線で立地。

愛知ブランド企業の立地状況



愛知県ブランド企業の認定状況（名豊沿線11市町※）



認定企業の例

■株式会社 豊電子工業（刈谷市）

ロボットシステムインテグレーターのリーディング企業として産業自動化に貢献

■株式会社 南山園（安城市）

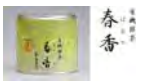
茶園栽培から抹茶加工・販売までの一貫生産体制を有し、顧客のニーズに合致した抹茶を生産

■栄屋乳業 株式会社（岡崎市）

シューアイスで国内シェア90%以上のデザートメーカー

■株式会社 葵製茶（西尾市）

有機農法栽培によるてん茶の収穫量は全国有数、上質なお茶を提供



■中村精機 株式会社（幸田町）

高精度小型歯車の量産技術に特化し、日本有数の生産量

■東京製鐵株式会社田原工場（田原市）

世界最大の電気炉をはじめ、最新設備と独自技術により高品質鉄鋼製品を生産

■伊藤光学工業 株式会社（蒲郡市）

日本初の眼鏡プラスチックレンズの製造と、コーティング技術により業界をリード

■宮川産業株式会社（田原市）

独自の異物除去技術と乾燥技術で、高品質のあおさ製品を提供

■本多電子 株式会社（豊橋市）

販売台数国内1位を誇るレジャー用魚群探知機

■株式会社ニデック（蒲郡市）

眼科医療、眼鏡機器の世界有数のメーカー

■中央化工機株式会社（豊明市）

振動技術を応用した流体・乾燥分野のトップメーカー

■太田油脂株式会社（岡崎市）

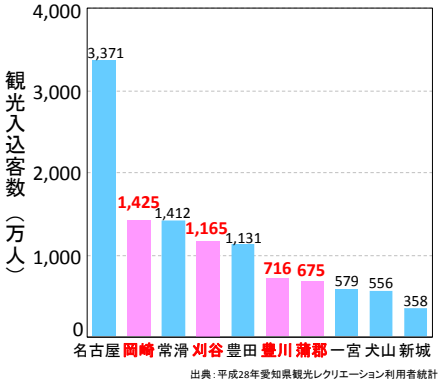
日本一のシェアを誇るコーン油の他、エゴマ油においても日本一のシェアを誇る

沿線市町の観光資源の連携を支援！

●名豊道路沿線は県内有数の観光地。様々なご当地キャラも地域のイベントを盛り上げる。

●地域内の観光資源の周遊や、イベントの連携などを支援。

市町村別観光入込客数（上位10位）



出典：平成28年愛知県観光レクリエーション利用者統計

沿線に魅力ある観光資源が多数存在

ご当地キャラによる地域内のイベントの盛り上がり

名豊道路沿線の観光資源

※公式キャラクター

ウォーキングへの参加機会増加による健康支援！

※写真はイメージ

●名豊道路が整備されることで、沿線地域の様々なウォーキングコースやイベントへ気軽に訪れる事ができ、健康増進を支援。

名豊道路沿線のウォーキングコース・ウォーキングイベント

①豊橋市 二川宿・もみじ狩りコース
・ウォーキングしながら　二川の自然と街並みを満喫。
・コースが複数あり、様々な楽しみ方が可能。

②岡崎市 自然や歴史の景観を楽しむプロムナード
・一周15-50分程度のコースで地元の名所、景色のきれいな場所など地域密着型のウォーキングマップを作成。

③豊川市 穂の国ウォーキングマップ
・豊川市の自然や文化を満喫できるウォーキングコース。
・ウォーキングに適した8つのコースを紹介。

④刈谷市 刈谷GOGOウォーキング
・心安らぐ神社を巡る、刈谷南部の街歩き。
・個人に合わせて、2種類のコースを選択可能。

⑤安城市 健康の道
・健康づくりのために、市内の各地にウォーキングコースを設置。
・2018年11月に安城市健幸ウォーキングを開催予定。

⑥西尾市 観光街道モデルコース
・西尾市を観光しながら　ウォーキングすることが可能。
・目的ごとに様々なコースを用意。

⑦蒲郡市 蒲郡ウォーキングマップ
・蒲郡を満喫できる、全24コース。
・ウォーキングをした後、温泉に入れるコースも。

⑧知立市 わくわくウォーキング
・毎年11月に市内の散歩みちを歩くウォーキングイベントを開催。
・市内の名所を巡りながら、観光ガイドを実施。

⑨豊明市 とよあけ健康ウォーキング
・月に一度、2種類のコースでウォーキングを開催。
・毎回約80-100人の老若男女が参加。

⑩田原市 渡辺崋山をしのぶ5つの道
・田原市とゆかりのある渡辺崋山をしのんで作られた道。
・健康づくり、歴史探訪、自然を満喫できる。

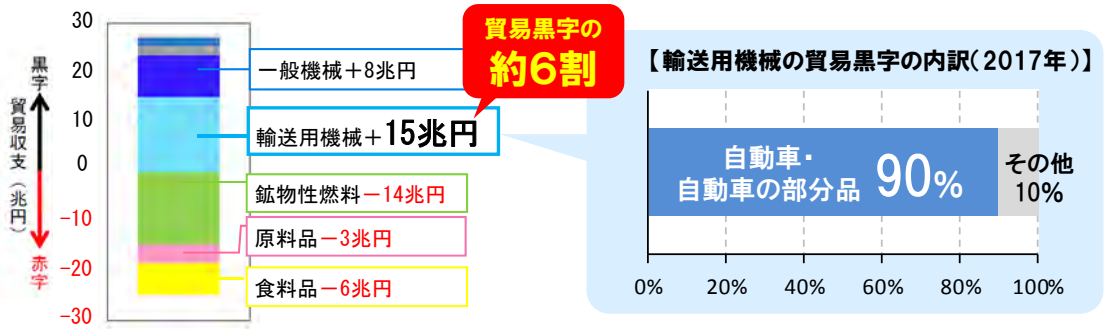
国際的な自動車産業物流を担い日本の経済を支える！

- 名豊道路は、名古屋港・三河港への自動車産業物流を担う幹線道路。
- 貿易黒字の約6割を占める産業の国際競争力を高め、日本の経済を支える。
（T社グループでは1日あたり約1，000便が名豊道路を利用。）

自動車産業の物流交通は名豊道路を利用

※1：出典 名古屋税関管内 貿易概況年分速報（2018.1.25）
※2：出典 名古屋税関豊橋税関支署管内 貿易概況年分速報（2018.1.26）
※3：出典：T社へのヒアリング調査等より（名四国道事務所）

我が国の貿易収支（2017年）

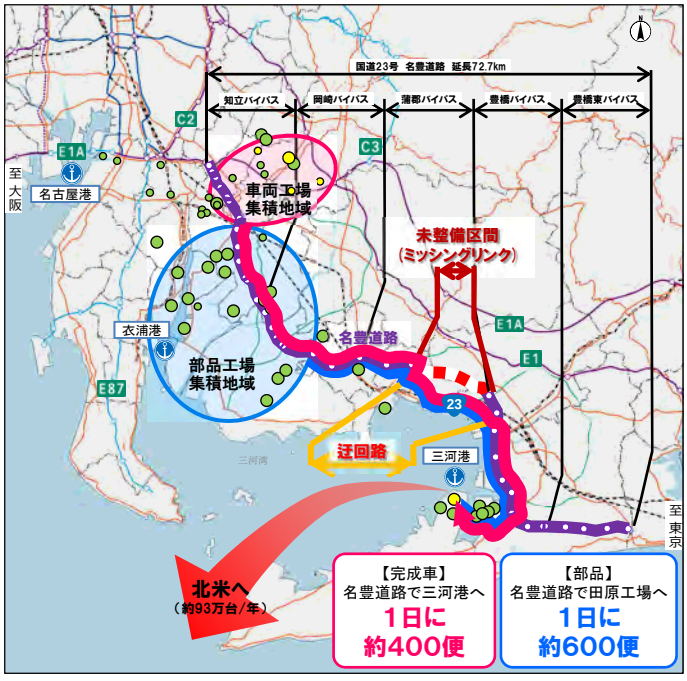


出典：貿易統計（財務省）

自動車産業の生産性と効率性がグッと高まる！

●沿線に自動車関連企業が進出し、約1,000便/日が名豊道路を利用。
●迂回路等の渋滞を想定した運行スケジュールを設定する事で、生産性が低下。
●整備により渋滞余裕時間が解消し、沿線の自動車産業の生産性向上に寄与。

名豊道路の整備に伴い自動車関連企業が進出



	自動車関連企業進出	
	組立工場	関連工場
1970（S45）以前	○	○
1970（S45）以降	○	○

名豊道路整備開始以降

※沿線地域の企業：名豊道路のICから10km圏内の自動車関連企業（T社グループ）を対象に作図

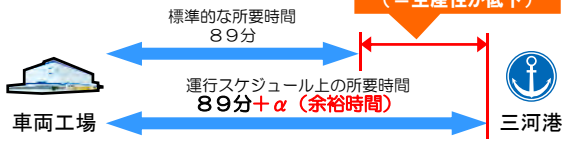
＜凡例＞
- 名豊道路
- 高速道路
- 一般有料道路
- 一般国道
- 主要地方道および県道
- JR線
- 8市1町
- 完成車ルート
- 部品ルート

渋滞により自動車製造の生産性が低下

渋滞を想定したスケジュールで運用する自動車物流

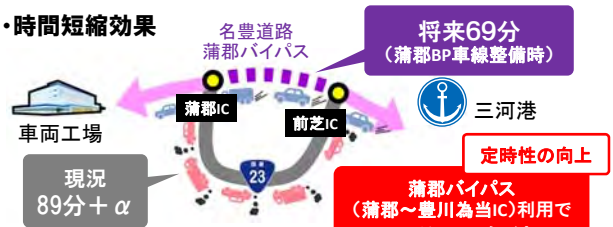
ジャストインタイム方式を採用する自動車物流では、渋滞による遅れに対応するため、予め余裕時間を設定し、運行スケジュールを組んでいる。

渋滞による遅れに対応するために設定（＝生産性が低下）



蒲郡バイパス整備による効果

・時間短縮効果



※所要時間の算定方法
区間：三河港（三河港湾事務所）～豊田市自動車工場（堤町五月池交差点）
経由路線：名豊道路～国道247号～名豊道路～国道115号
データ：2014 年度（年間）民間プローブデータ（9～16時台平均）

・物流効率化による生産性向上効果

1日あたり1,000便が往復…往復で40分短縮

⇒1日あたり40,000分（約667時間）短縮
1便あたり8時間/日、241日稼働とすると…

⇒**年間約20,000便の貨物車を削減と試算**

※データ：【所要時間】名豊道路の未整備区間及び暫定2車線区間は規制速度を用いて算出、その他は2014年度（年間）民間プローブデータ（9～16時台平均）で算出
【稼働日数】T社グループ 2015年度カレンダー

物流の効率化によりトラックの１日２往復が可能に！

名豊道路（完成車の輸送）

●名豊道路は三河港への自動車部品や完成車の物流を担う（約1,000便/日）。
●豊田市内の自動車工場から三河港まで製品をトラックで輸送。
●名豊道路の整備によりトラックドライバー１人あたりの輸送回数が増加し、物流効率化を支援。

豊田市方面の自動車工場から三河港への製品輸送

※T社へのヒアリングにより作成
※名古屋税関豊橋税関支署管内　貿易概況年分速報

トラックドライバー１人あたりの輸送回数

『豊田市内～三河港の往復輸送の場合』

トラックドライバー
１日の運転時間
８時間/日

【現況】	【将来：名豊全線整備時】
名豊道路 大崎IC～前芝IC、蒲郡IC～野田IC利用 （前芝IC～蒲郡IC間は現道利用）	名豊道路 大崎IC～野田IC利用
往復約5時間/回	往復約4時間/回
ドライバー１人あたり 1往復/日	ドライバー１人あたり 2往復/日

トラックドライバー１人あたりの輸送回数が１往復/日増加

※所要時間算出方法
現況：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査　混雑時旅行速度
将来：未供用区間は既供用4車線区の昼間12時間平均

地域特産物 切り花類の出荷を支援！

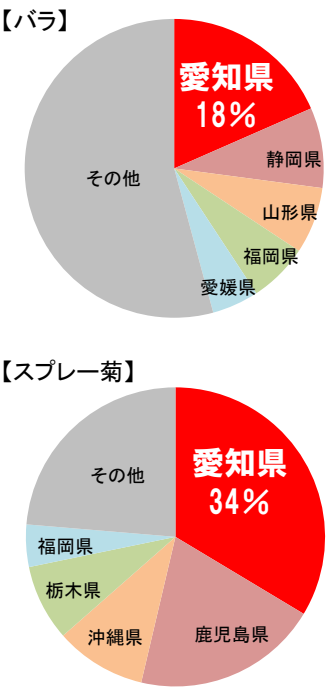
●愛知県は切り花類の出荷量が全国1位。豊川市は県内有数の生産地。

●豊川市で生産される主要品種のバラやスプレー菊は、名豊道路を利用して名古屋方面へ出荷。

●蒲郡バイパス整備により更なる流通拡大に期待。

豊川市産の切り花類の輸送ルート

都道府県別切り花類出荷量



出典：平成28年産花き生産出荷統計

沿線地域の声：JAひまわり

・豊川市で生産されたバラやスプレー菊は、豊川ICから高速　道路を利用し、全国に出荷しています。名古屋方面には名豊道路を利用して出荷しています。
・名豊道路の整備で所要時間が短縮したと実感しています。

出典：ヒアリング調査より（2018年2月実施）

豊川市から名古屋方面への輸送時間

【JAひまわり花き集出荷センター～名古屋市役所までの所要時間】

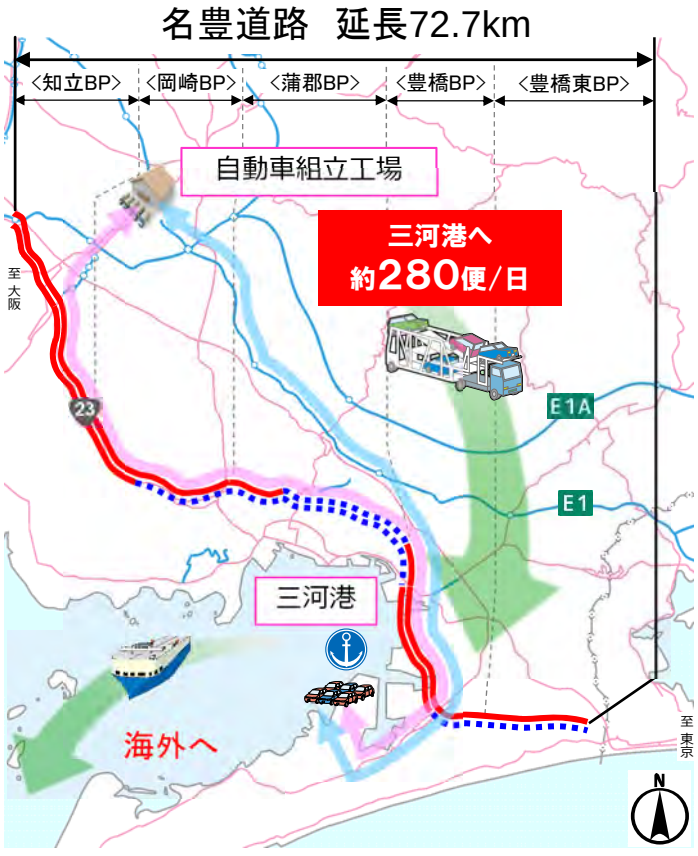
出典：名豊道路開通前　昭和55年度 全国道路・街路交通情勢調査より算出
現況　平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査より算出
蒲郡BP開通後　現況に加えて蒲郡バイパス未開通部は蒲郡バイパス開通部分の現況速度で試算

完成車輸送の事業継続計画を支援！

●トラックドライバーの勤務時間を確保するため、高速道路を利用。

●名豊道路全線4車線整備により、生産体制にリダンダンシーを確保。

自動車組立工場～三河港の完成車輸送ルート



整備状況（2018年時点）所要時間算出ルート

- 未整備
- 整備済み
- 高速道路ルート
- 蒲郡BP暫定2車線開通後のルート
- 名豊道路完成4車線開通後のルート

名豊道路整備の進展による所要時間の短縮

【自動車組立工場～三河港までの片道所要時間】

	高速道路ルート	一般道路ルート
現況 蒲郡IC～豊川為当IC 未整備	約82分	（現況は高速道路ルート）参考: 約102分
蒲郡BP 暫定2車線開通 蒲郡BP 暫定2車線開通	（変化なし）	約90分
名豊道路 完成4車線開通 名豊道路 完成4車線開通	約81分	約84分

企業の事業継続計画を支援！

※ヒアリングによる試算値

高速道路ルートにおける通行止時間

通行止時間の年間合計　**9時間17分**　※2016NEXCO中日本資料

名豊4車整備により、交通が分散され、安全性の向上及び、物流効率化を支援。

自動車部品輸送時間の信頼性・確実性が高まる！

●名豊道路の沿線には、自動車部品企業の工場が多数立地。

●岡崎バイパスの4車線化により、同部品関連工場から自動車組立工場への製品輸送時間のバラツキが改善し、所要時間が最大約25分短縮。

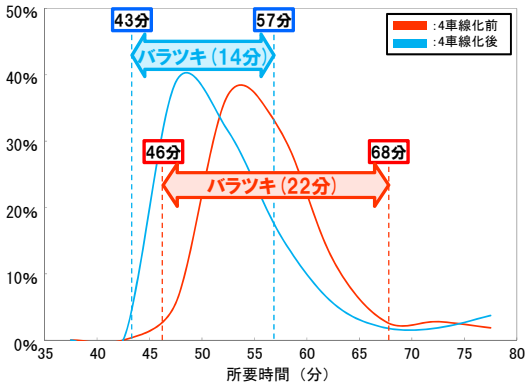
自動車部品企業～自動車組立工場への製品輸送ルート

【概要】
◆ディスクブレーキを100万個/年製造
◆従業員900人

製品輸送時間のバラツキの変化

所要時間が最大約25分改善
（最長68分⇒最短43分）

【アイシン高丘吉良工場～組立工場（豊田市内）の
所要時間のバラツキ】



出典：プローブデータ（平日7:00～19:00、4車線化前：2015.4-12、4車線化後：2016.4-12）

■自動車部品企業の実感

岡崎バイパスの4車線化により、物流・通勤面で効率化していることを実感している。
納品先への所要時間が短縮でき、迷惑をかける事がなくなった。
また、従業員が通勤にも利用しており、早期の全線開通、4車線化に期待している。

出典：企業ヒアリング（2018年10月）

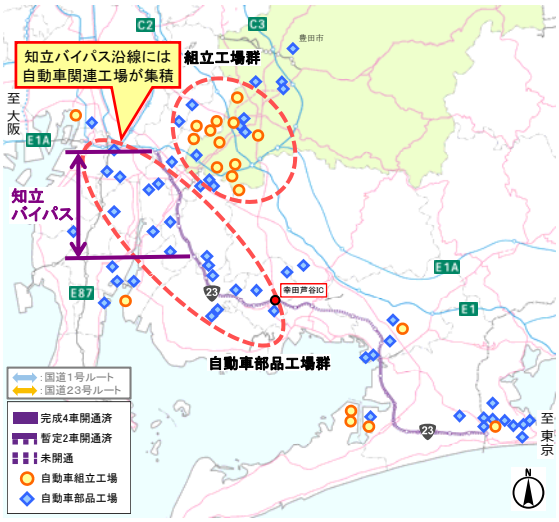
道路の整備にともない 製造品出荷額が約2.7兆円増加！

●名豊道路沿線には、自動車部品工場が多く立地。

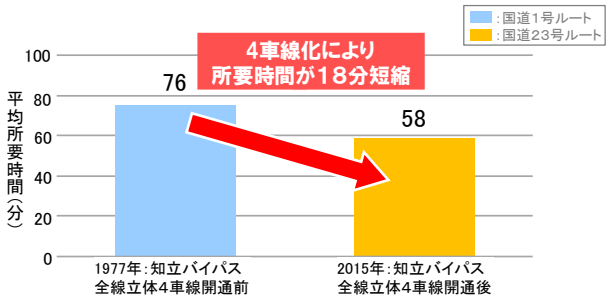
●知立バイパスの整備により、自動車部品工場から自動車組立工場までの所要時間が約18分短縮した他、沿線市※の製造品出荷額が約2.7兆円増加するなど、物流効率化の面において、自動車関連企業をはじめとする企業の経済活動を支援。

※沿線市：豊明市、知立市、刈谷市、安城市

知立バイパス沿線の自動車部品工場・組立工場

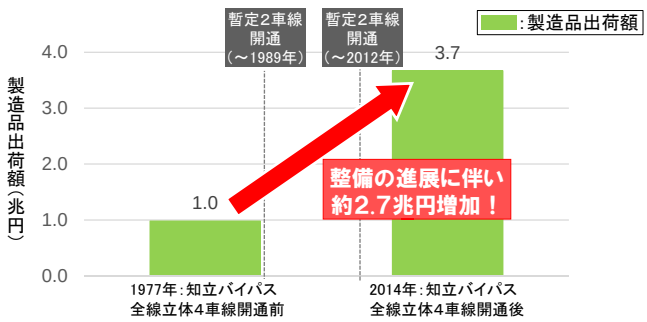


自動車部品工場～組立工場間の所要時間の変化



※区間：幸田町（幸田芦谷IC）～ 豊田市自動車工場（国道155号堤町五月池交差点）
1977年：昭和52年度 全国道路・街路交通情勢調査（7時～19時）
2015年：平成27年度 全国道路・街路交通情勢調査（7時～19時）
※国道1号ルート（国道155号～国道1号～国道248号）、国道23号ルート（国道155号～国道23号）

沿線市の製造品出荷額の推移



出典：昭和52年度、平成26年度 工業統計調査（経済産業省）

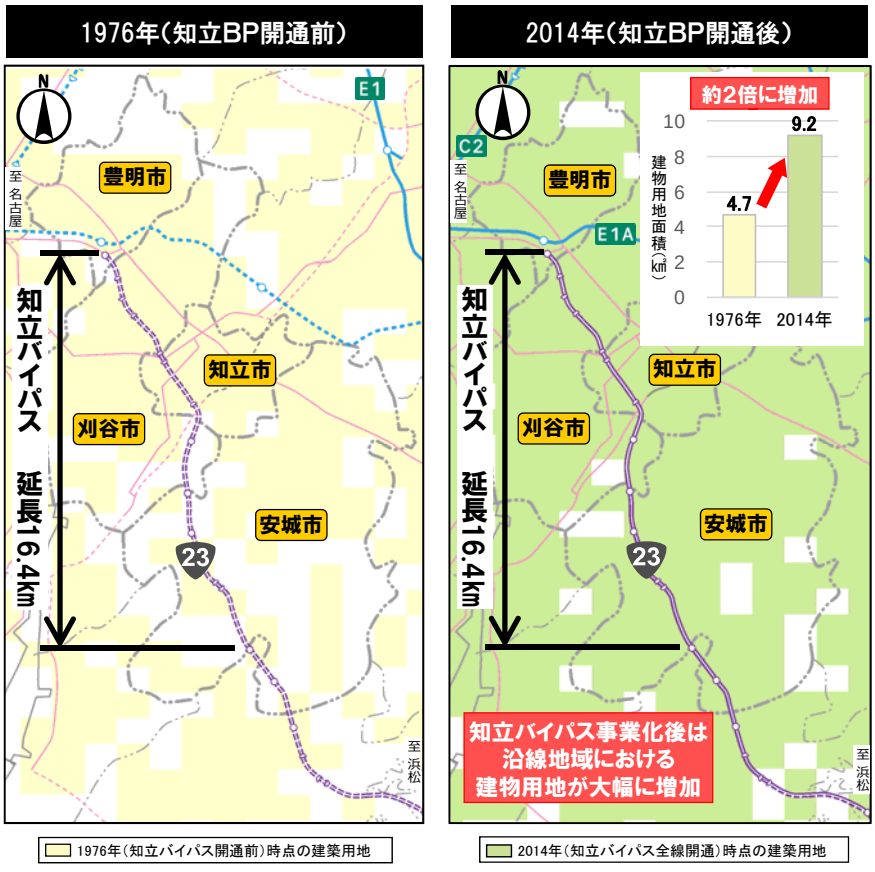
進む市街化 知立バイパス沿線で人口1.5倍！

●知立バイパスの沿線市※では、建物用地面積が約2倍に増加。

●人口が約1．5倍、住民税が約290億円増加。知立バイパスの沿線市において市街化が進展。

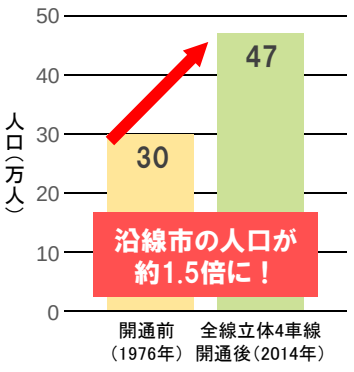
※沿線市：豊明市、知立市、刈谷市、安城市

建物用地面積の変化



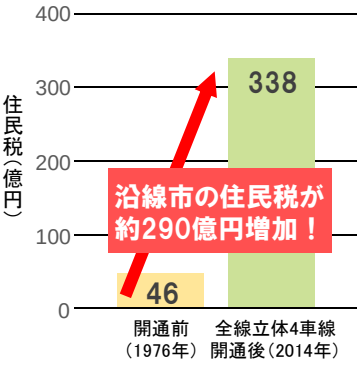
出典：国土数値情報（土地利用）※建物用地：住宅地・市街地等で建物が密集している箇所

沿線市の人口変化



出典：昭和53年度、平成28年度愛知県統計年鑑

沿線市の住民税の変化

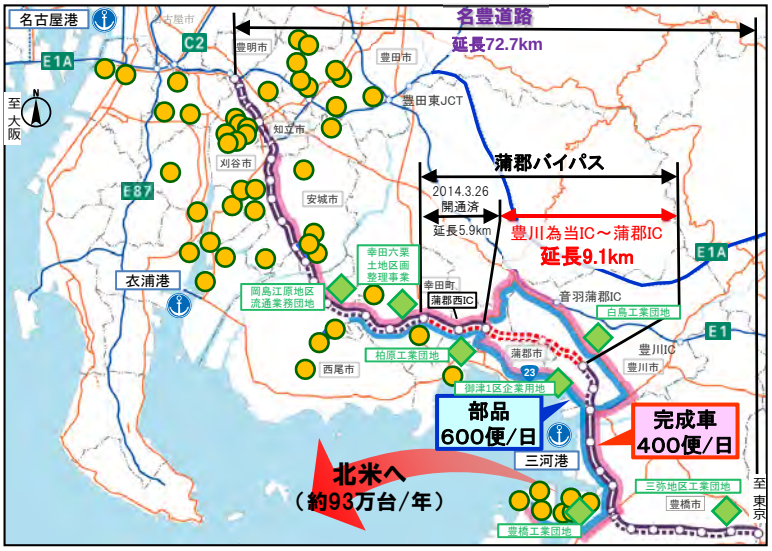


出典：昭和53年度、平成28年度 愛知県統計年鑑
※住民税：市町村民税（住民分）を示す

工業団地造成で民間投資と雇用を創出！

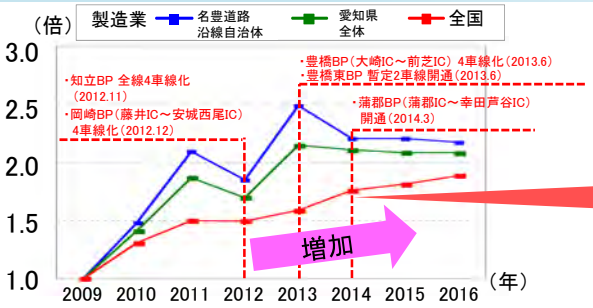
●名豊道路は貿易黒字の約5割を占める自動車産業の物流ルートとして日本経済を牽引。
●蒲郡市は、蒲郡西IC隣接地に（仮称）柏原工業団地を造成し、2020年には分譲開始の意向。
●蒲郡バイパスの開通は、更なる民間投資と雇用創出、自動車産業の発展に寄与。

自動車産業の物流ルートとして機能する名豊道路



※名豊道路の各ICから10km圏内の自動車関連企業（T社グループ）を対象

名豊道路沿線の新規求人数の伸び率



名豊道路沿線の新規求人数は、愛知県全体に比較し高く、特に開通見通し公表後の伸び率が著しい

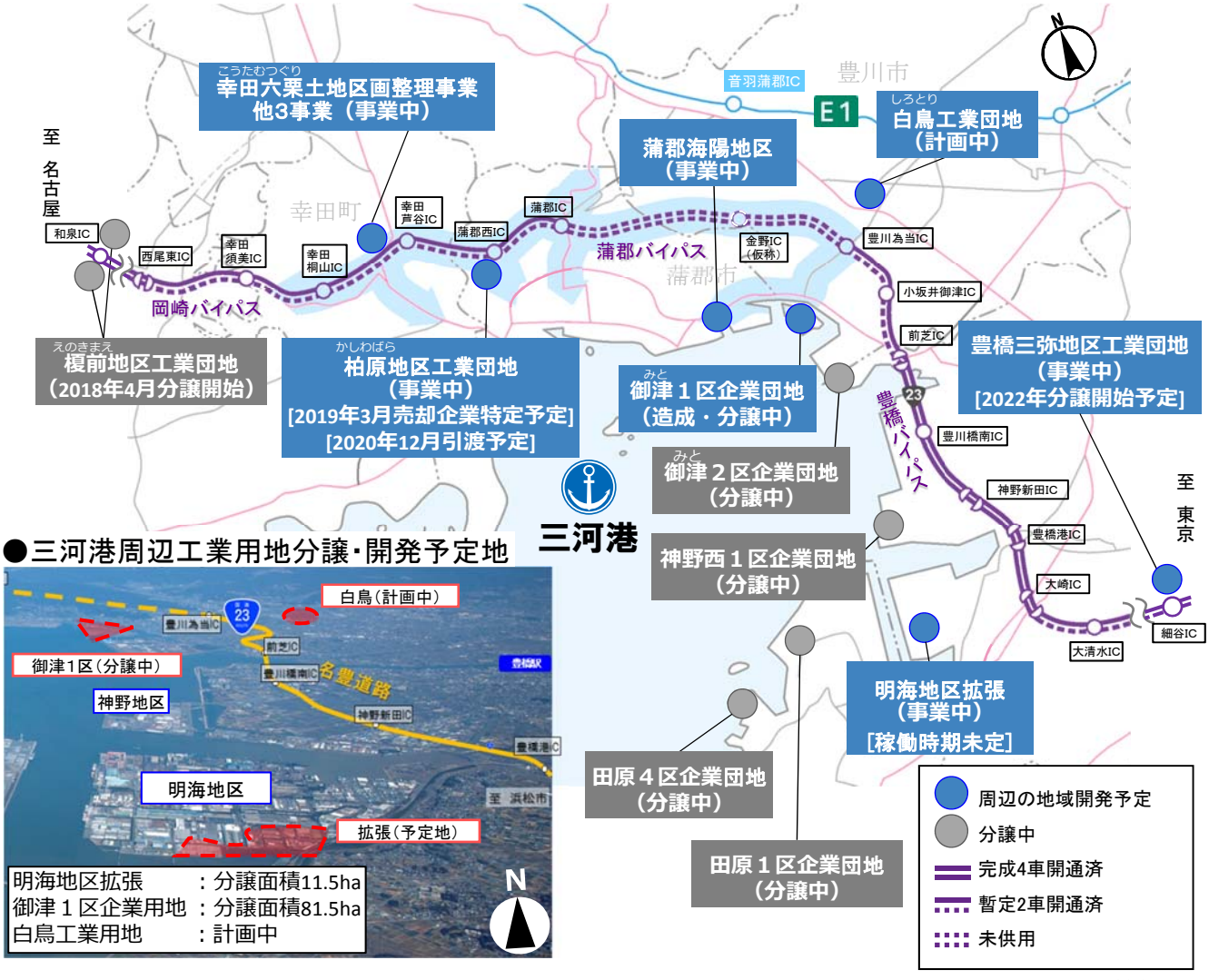
出典：愛知労働局年報（職業安定部編）（愛知県労働局）労働市場年報（総務省）豊橋・豊川・西尾・刈谷・岡崎安定所の求人数を基に算出
名豊道路沿線自治体：豊橋市、豊川市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、知立市、豊明市、幸田町

工業団地立地など地域開発が進展！

三河港（田原地区、明海地区）

●蒲郡バイパスの周辺地域では、工業団地の立地や土地区画整理事業等の地域開発が進展。

蒲郡バイパス周辺地域の開発予定



●三河港周辺工業用地分譲・開発予定地

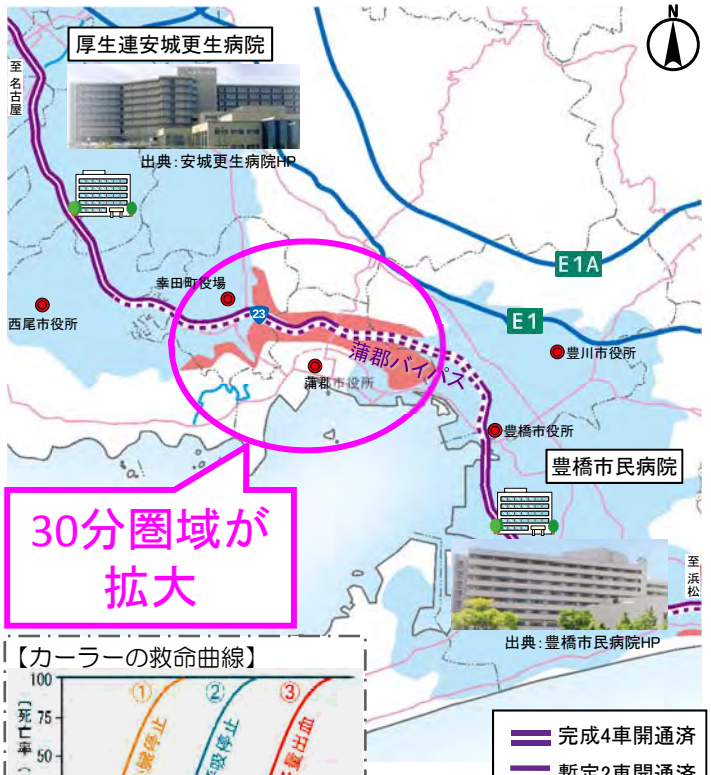
明海地区拡張　：分譲面積11.5ha
御津１区企業用地：分譲面積81.5ha
白鳥工業用地　：計画中

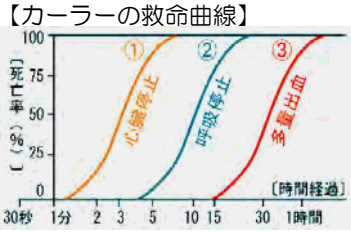
2017.6名四国道事務所調べ

「命の砦」第３次救急医療施設へのアクセス性が向上！

- 幸田町の一部地域から第3次救急医療施設へは約30分以上要する。
- 名豊道路の整備により、第3次救急医療施設まで30分以内で到達可能な人口が約1．8万人増加。

3次医療施設の30分圏域の変化





①心臓停止後約3分で50%死亡
②呼吸停止後約10分で50%死亡
③多量出血後約30分で50%死亡

幸田町から3次医療施設までの所要時間の変化

『豊橋市民病院へのアクセス』

【現況】		【将来※】
49分	1分短縮	48分

『厚生連安城更生病院へのアクセス』

【現況】		【将来※】
31分	1分短縮	30分

※名豊全線整備時

3次医療施設から30分圏域の人口の変化

【現況】		【将来※】
149.4万人	1.8万人増加	151.2万人

※名豊全線整備時

3次医療施設へのアクセス向上

※所要時間算出方法
現況：ETC2.0プローブ情報（2017年10月　平日平均　7時台旅行速度）
将来：未供用区間は既供用4車線区の昼間12時間平均

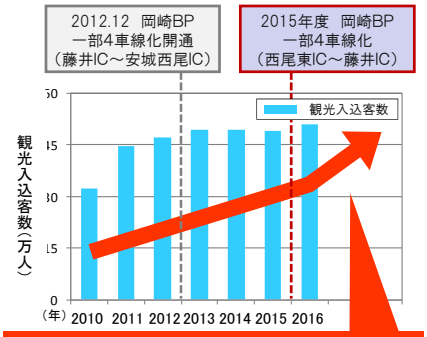
地域の情報発信基地「道の駅」の入込客数が増加！

●道の駅「にしお岡ノ山」は、地域交流拠点・情報発信基地として、周辺市町の地場産品を販売。
●名豊道路の整備に伴い入込客数が増加。

地場産品が集結する「にしお岡ノ山」

地場産品が道の駅へ集結

「にしお岡ノ山」観光入込客数の推移



オープン以降観光入込客数4割増

出典：愛知県観光レクリエーション利用者統計（愛知県）

名豊道路の整備とともに増加する道の駅来訪者と売上

岡崎バイパスの整備が進み、全体として入込客数は年々増加している状況です。

今後、名豊道路の整備が進むことで、道の駅への来訪者がさらに増加すると期待しています。

道の駅関係者

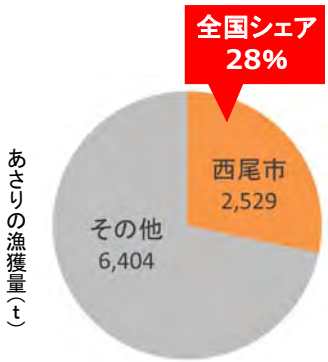
出典：名四国道事務所ヒアリング調査（2015年6月）

観光流入客数が倍増！
全国NO.1を広く周知！

●西尾市は、あさりの漁獲量が全国NO.1で、潮干狩りのスポットとして有名。
●名豊道路などの幹線道路網の整備により、遠方から来訪しやすくなり、 入込客が倍増。

潮干狩りの来訪イメージ

あさりのシェア率



出典：平成28年海面漁業生産統計調査（農林水産省）

名豊道路の整備で観光入込増加を後押し！

潮干狩り場までのアクセス性が向上したことで、観光入込客数の増加につながっています。
岡崎バイパスをはじめとした道路整備により所要時間が短縮し、潮干狩りを楽しめる時間が増えた恩恵もあると思います。
今後の整備進展にも期待します。

西三河漁業協同組合
関係者
出典：名四国道事務所ヒアリング調査（2015年9月）

観光入込客数が7年間で1．8倍に!!

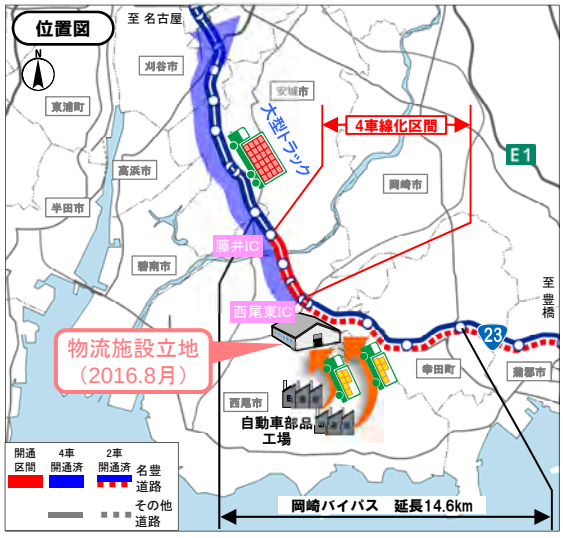
出典：愛知県観光レクリエーション利用者統計（愛知県）
※2009年と2016年の比。2014.12 岡崎バイパス藤井IC～安城西尾IC 4車線化

沿線に物流施設が立地し部品工場からの物流を集約！

●岡崎バイパスの4車線化による渋滞緩和や定時性の向上等の整備効果を見越し、西尾東IC周辺では物流施設が立地。（2016年8月立地）

●物流施設の立地により、自動車部品工場からの物流を集約し輸送することが可能となり、トラックの積載率が向上し、トラックの便数が約3割削減。

西尾東IC周辺に物流施設が立地



西尾東IC周辺に立地した物流施設

道路利用者の声

弊社では、251事業所の自動車部品工場から5工場にそれぞれ納品して頂いておりました。
西尾東ICに立地した物流施設に荷物を集約し、大型のトラックで輸送することで、トラック便数が約3割削減され、また、積載率の少ない状態の便が多くありましたが、積載率が向上しました。
さらに、納品先の工場での入庫待ち時間も緩和されました。
（自動車関連企業担当者の声）

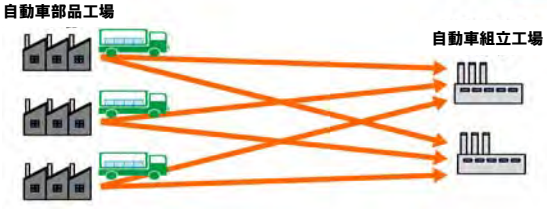
出典：名四国道事務所ヒアリング調査（2016年3月実施）

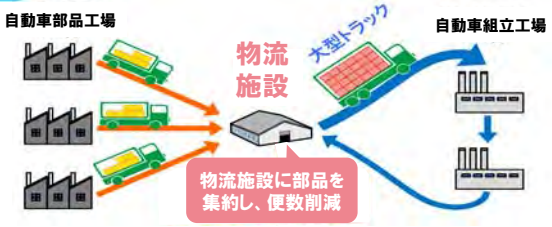
集約輸送による物流の効率化

4車線化前（物流施設立地前）
トラック便数：約750便/日

210便/日減（約3割減）

4車線化後（物流施地設置後）
トラック便数：約540便/日





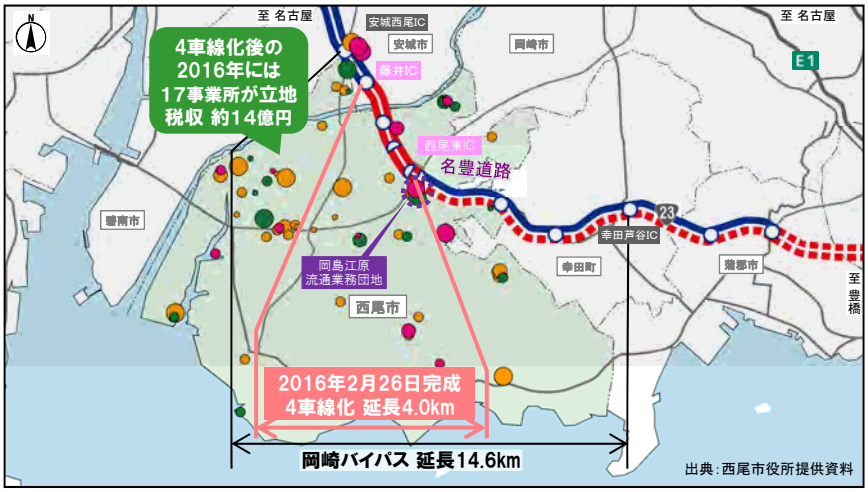
出典：名四国道事務所ヒアリング調査（2016年3月実施）

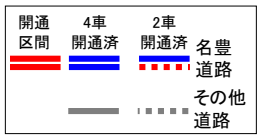
企業立地が進展し地域が活性化！

4車線化後に操業開始した企業

- 岡崎バイパスが通過する西尾市では、近年、企業立地が進展しており、西尾東IC～藤井IC間の4車線化完成後となる2016年にも、新たに17事業所が立地。
- 特にバイパス沿線では、延床面積が5，000m²を超える事業所が進出。
- 企業立地により、西尾市の2016年税収は約14億円増加し、今後もさらなる増加が期待。

岡崎バイパス沿線の西尾市で進展する企業立地

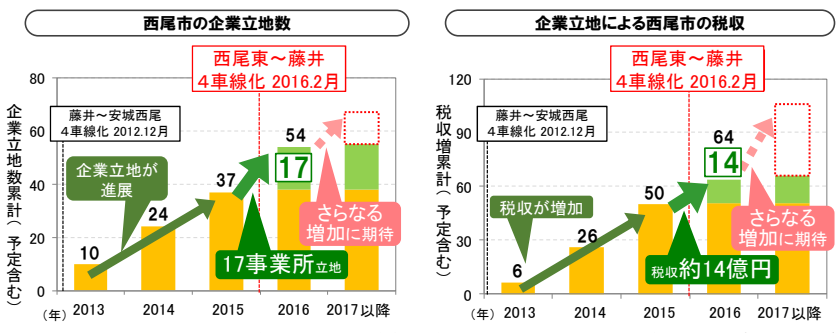




立地企業
- ：2012.12月～2016.2月操業開始
- ：2016.2月～2017.3月操業開始予定
- ：2017.4月以降操業開始予定

延床面積(㎡)
- ：10,000以上
- ：5,000以上～10,000未満
- ：1,000以上～5,000未満
- ：1,000未満
- △：不明

西尾市の企業立地による税収の増加



出典：西尾市役所提供資料（税収は、固定資産の投資額から過去の税収実績を基に試算。なお、原価償却を見込まず）

道路利用者の声

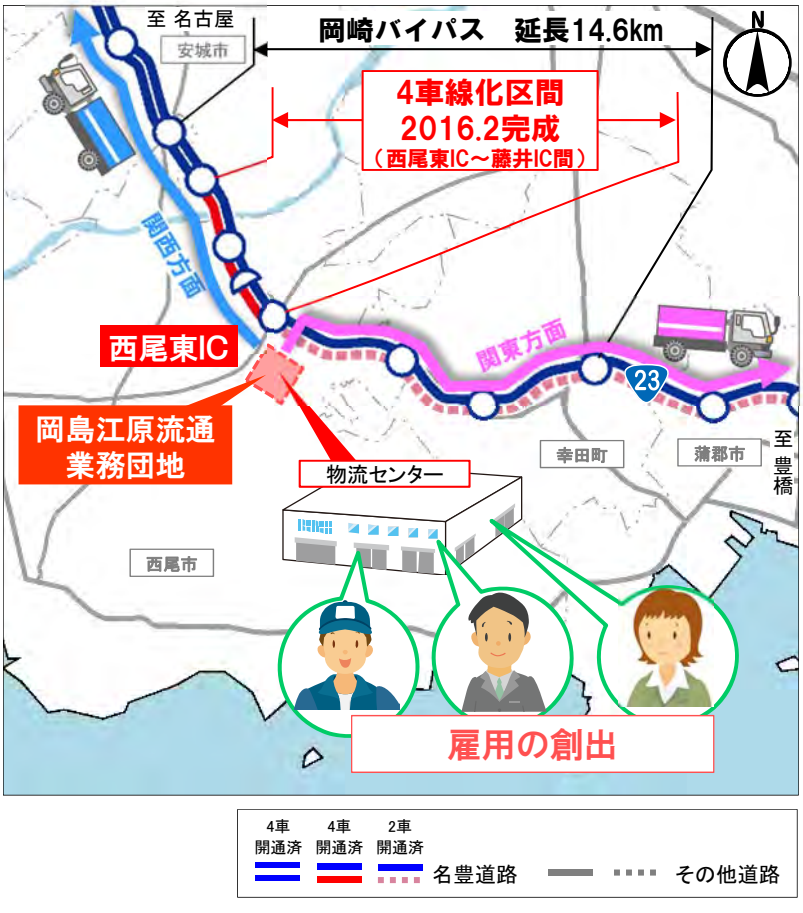
弊社は、納品時の輸送時間の短縮を図るため、今回、4車線化された岡崎バイパスに隣接する岡島江原流通業務団地内に立地しました。
（企業立地担当関係者の声）

出典：名四国道事務所ヒアリング調査（2016年3月実施）

大規模物流施設の整備により新たな雇用を創出！

●岡崎バイパスの4車線化区間の沿線では、大規模物流施設が整備。
●企業進出により、新たな雇用を創出。

西尾東ICの周辺に物流拠点が進出



＜進出の決め手＞

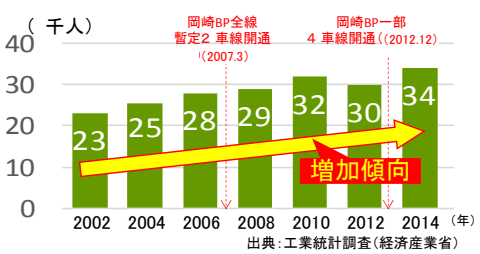
西尾市内には顧客も多く、
三河の中で岡崎バイパスの
真下という立地は最大の魅力

従業員：約280名
（約140名新規採用）

2016年8月操業開始

出典：企業アンケート調査（2015年8月実施）

西尾市の従業者数（製造業）



出典：工業統計調査（経済産業省）

企業進出により地域経済が好循環！

輸入された完成自動車

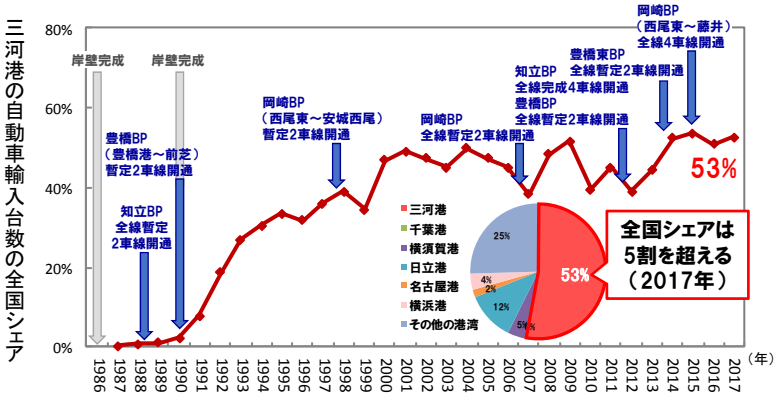
●名豊道路と三河港の整備により、三河港は国内最大の自動車輸入拠点に成長。
●海外企業の進出により、豊橋市では税収（約4.4億円）が増加。

日本の真ん中である三河港から全国に配送

国内最大の自動車輸入拠点に成長した三河港

輸入車企業進出により地域経済が好循環

三河港の自動車輸入台数の全国シェア・名豊道路、三河港岸壁整備経緯



出典：貿易統計特集（名古屋税関調査部）、貿易統計（財務省）

地域経済への効果（豊橋市）

税収の増加
進出企業からの地方税
約4.4億円
（2014年実績）

ユーザーへの納車状況

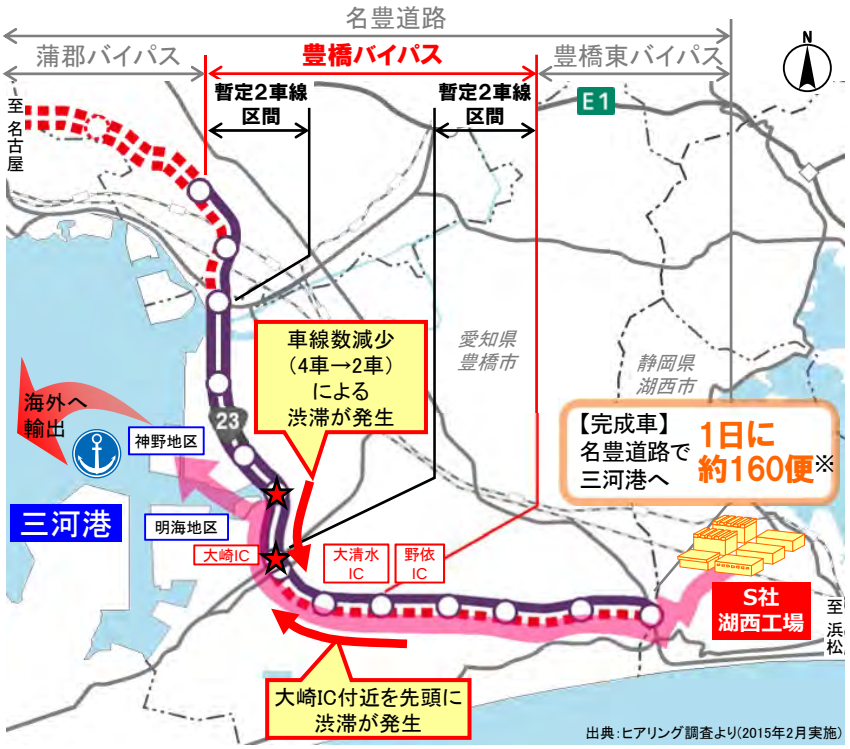
出典：国土交通省三河港湾事務所資料

輸送の回旋可能数が増加し物流効率化に寄与！

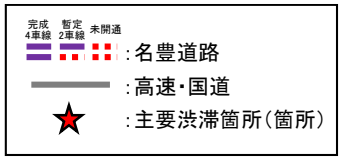
●豊橋バイパスの４車線化により渋滞緩和が期待。

●移動時間の短縮により、輸送の回旋可能数が増加し、物流効率化に寄与。

三河港へのアクセス道路の強化



三河港周辺工業用地分譲・開発予定地



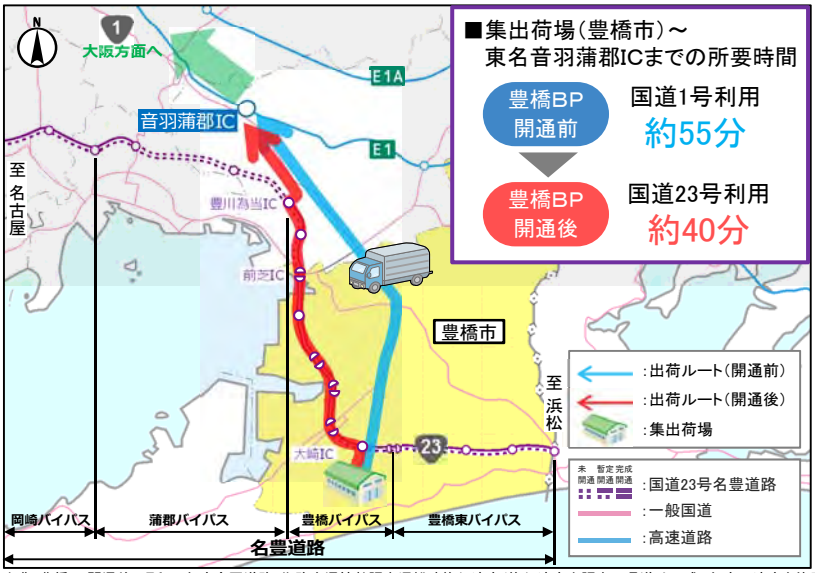
豊橋バイパス整備による効果

音羽蒲郡ICまでの所要時間短縮!
特産物流通を支援!

収穫間近のキャベツの様子

●愛知県はキャベツの出荷量全国第2位(シェア2割)。豊橋市は県内有数の産地。
●豊橋市のキャベツは、名豊道路を利用し全国に出荷され、出荷量は増加傾向。
●音羽蒲郡ICまでの所要時間が短縮し、特産物の流通を支援。

キャベツの主な出荷ルートと時間短縮効果



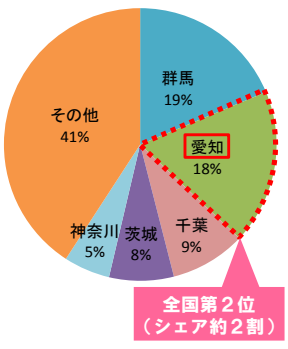
出典:豊橋BP開通前　昭和55年度全国道路・街路交通情勢調査混雑時旅行速度(旅行速度未調査の県道は平成2年度の速度を使用)
豊橋BP開通後　平成27年度全国道路・街路交通情勢調査非混雑時旅行速度

沿線地域の声:JA豊橋

・豊橋市のキャベツは、名豊道路を利用し、全国各地に出荷しています。
・豊橋バイパスが開通する前は、国道1号を利用して出荷しており、音羽蒲郡ICまで約1時間かかっていました。豊橋バイパスの開通により、所要時間の短縮を実感しています。
・また、市場まで時間通りに到着できるようになりました。

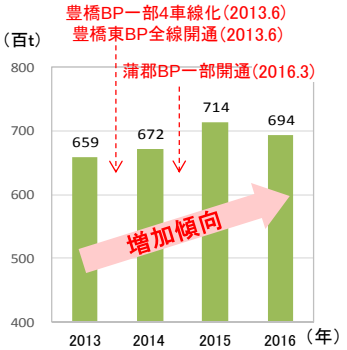
出典:ヒアリング調査(2018年2月実施)

愛知県のキャベツの出荷割合



出典:H28作物統計調査(農林水産省)

豊橋市のキャベツの出荷量



出典:作物統計調査(農林水産省)

交通会館マルシェの様子(東京都有楽町)

出典:豊橋市HP

これまでの交通量の推移および現状の交通量

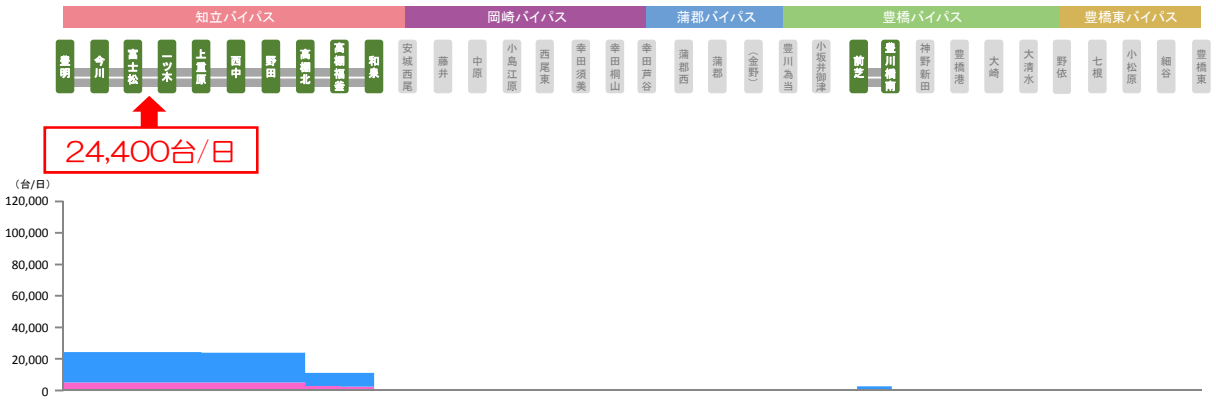
❖これまでの交通量の推移

【凡例】 :小型車交通量 :大型車交通量

出典：全国道路・街路交通情勢調査

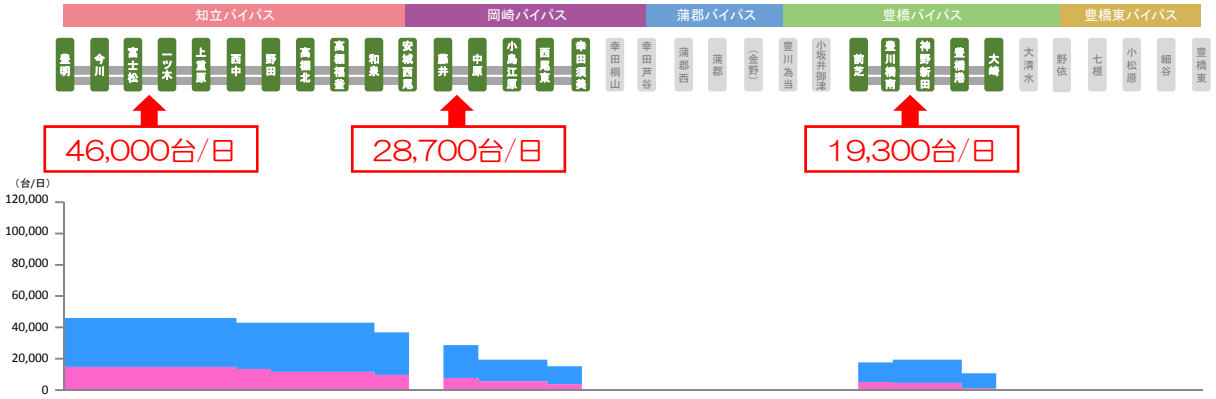
1983年

・知立バイパス「和泉IC～豊明IC」暫定2車線開通
・豊橋バイパス「豊川橋南IC～前芝IC」暫定2車線開通



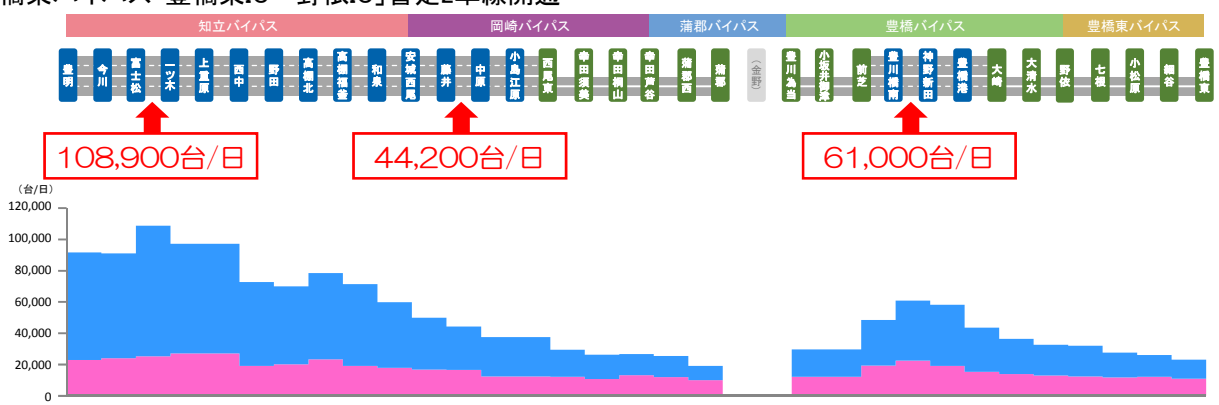
1999年

・知立バイパス「安城西尾IC～和泉IC」暫定2車線開通
・岡崎バイパス「幸田須美IC～藤井IC」暫定2車線開通
・豊橋バイパス「大崎IC～豊川橋南IC」暫定2車線開通

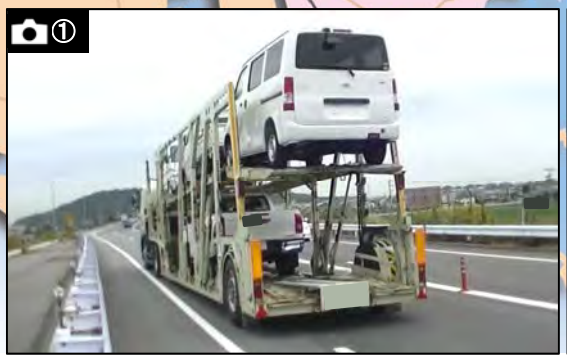


2015年

・知立バイパス「安城西尾IC～豊明IC」4車線開通
・岡崎バイパス「西尾東～安城西尾IC」4車線開通、「幸田芦谷IC～幸田須美IC」暫定2車線開通
・蒲郡バイパス「蒲郡IC～幸田芦谷IC」暫定2車線開通
・豊橋バイパス「大崎IC～前芝IC」4車線開通、「野依IC～大崎IC」・「前芝IC～豊川為当IC」暫定2車線開通
・豊橋東バイパス「豊橋東IC～野依IC」暫定2車線開通



名豊道路の貨物車交通の変化



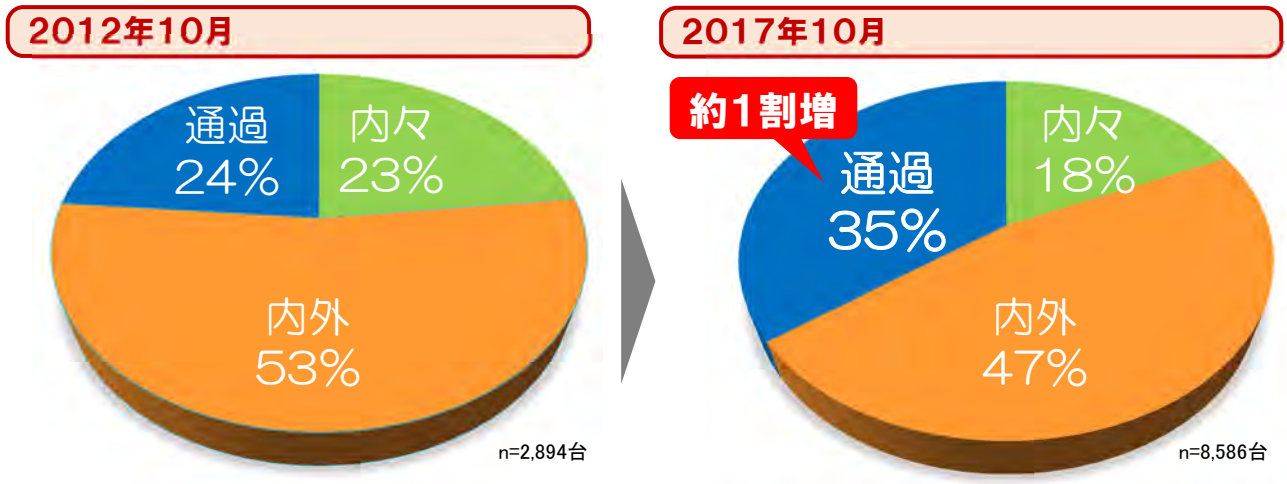
▲西尾東付近（2017.10月撮影）

▲前芝IC付近（2017.10月撮影）

地図凡例
- 4車線開通
- 2車線開通
- 事業中
- （○○IC）は仮称
- 沿線市町

豊明市、知立市、刈谷市、安城市、西尾市、幸田町、蒲郡市、豊川市、豊橋市

❖名豊道路の貨物車交通の変化



・内々：交通の発着の両方が名豊道路沿線市町にある交通
・内外：交通の発着の一方が名豊道路沿線市町、
　　他方がその他市区町村にある交通
・通過：交通の発着が名豊道路沿線市町にはなく、地域を通過する交通

出典　貨物車プローブデータ
　　対象区間：名豊道路（豊橋東BP 豊橋東IC～知立BP 豊明IC）
　　算出期間：2012年10月、2017年10月

路線名	沿線市町
知立BP	豊明市、刈谷市、安城市、知立市
岡崎BP	西尾市、幸田町
蒲郡BP	蒲郡市
豊橋BP	豊橋市、豊川市
豊橋東BP	豊橋市

2015年9月　撮影

国土交通省 中部地方整備局
名四国道事務所

2019.3.